



No.7

2021/02

品質管理課 住友



品質管理課 住友です。
品質かわら版、第7回目は感染症についてお伝えします。

第4回目品質かわら版では、新型コロナウイルスの基礎知識をお伝えしておりますが、空気が乾燥しているこの時季 新型コロナウイルスに限らず、インフルエンザウイルス・ノロウイルス等も留意する必要があります。
あらためて、感染症についておさらいをしてみましょう。

誰だってウイルスの運び屋！

私達が普段何気なく触れる物にも、何気なく吸い込む空気にも多くの細菌やウイルスが潜んでいます。もちろん、それを触った手や吸い込んだ体にも。
人には見えないものだからこそ、誰だって気が付かないうちに細菌やウイルスの「運び屋」になっているのです。とは言え、細菌やウイルスを「ゼロ」にするのは無理な話です。
だからこそ、細菌やウイルスを知りポイントを抑えて感染症を予防することが大切です。

感染症ってなに？

人が生活している空間には無数の微生物が存在しています。
ウイルスや細菌も微生物のひとつ。そして、病気を引き起こす微生物を病原体と言います。
感染症は病原体が体内に侵入し増加すること（感染）により起こる病気の総称です。
体の防御機能が低下している場合・防御機能を上回る量の病原体にさらされることで、感染症を発症します。

また、病原体に感染しているのに、感染症状を発症しない状態を「不顕性感染」と言います。



ウイルスと細菌は違うの？

どちらも感染症の原因で同じようなものと思われがちですが、大きな違いがあります。ウイルスは自分の細胞がなく、自力で増殖することができません。そこで、人の細胞に侵入し増殖を行います。一方、細菌は人の体内に定着し自己分裂を繰り返し増殖しながら、人の細胞内に侵入し毒素を出して細胞を破壊していきます。

病原体はどんなルートで体内に侵入するの・・・？

病原体が体内に侵入するルートを感染症経路と言います。人やモノなどの感染源から周囲に広がる感染経路は大きく分けて4つあります。

飛沫感染

咳やくしゃみで飛び出した、細かい唾液などに病原菌が含まれていた場合に、それを近距離で吸い込むことで感染に至ります。

空気感染

病原体を含んだ細かい唾液などが、蒸発してさらに小さくなると空气中を長時間浮遊して広がります。これを吸い込むことで感染に至ります。

接触感染(直接)

皮膚の直接的な接触や、性行為等による粘膜の直接的な接触により感染に至ります。

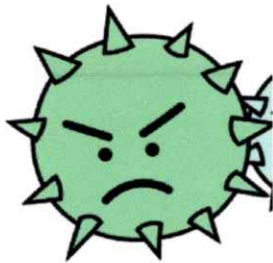
接触感染(間接)

ドアノブやタオルと言った、物や食品・水・血液、昆虫や排泄物・嘔吐物を介して感染に至ります。

なぜに抗菌薬は効かない？

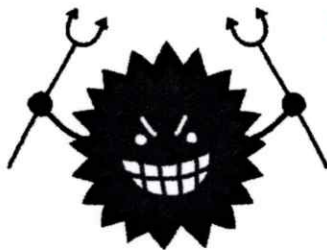
風邪は殆どの場合ウイルスが原因です。抗菌薬はその名の通り、細菌に効きますが、ウイルスには効かないので、風邪に抗菌薬を使用しても効果はありません。

ひとくちに感染症といってもさまざま。代表的な病原体をCHECK!



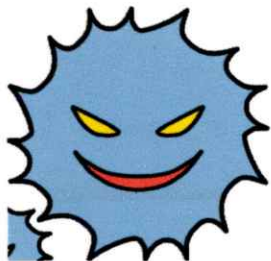
インフルエンザウイルス (A型・B型)

- 感染力 ★★★★★
- 危険度 ★★★★★
- 流行時期 11月 12月 1月 2月 3月
- 主な症状 38度を超える発熱・頭痛・筋肉痛など
- 感染原因 病原体を含んだ細かい唾液を吸い込む
手などを介して病原体が鼻や口に付着する
- 特徴 湿気に弱い
毎年少しずつ変異する
季節性インフルエンザと新型インフルエンザがある
新型は感染力・危険度が非常に高い
- 予防方法 手洗い・加湿・ワクチン接種



ノロウイルス

- 感染力 ★★★★★
- 危険度 ★★★★★
- 流行時期 11月 12月 1月 2月 3月
- 主な症状 嘔吐・吐き気・下痢・腹痛
- 感染原因 貝類（カキ等の二枚貝）を未加熱で口にする
感染者の便や嘔吐物を介した空気・飛沫・接触感染
- 特徴 感染力が強く、少ないウイルス数で感染する
エタノール（アルコール）系 n 除菌剤や熱に弱い
塩素系除菌剤に弱い
- 予防方法 貝類の過熱（中心温度85°~90°で90秒以上）
調理器具の洗浄・除菌
手洗いの徹底



病原性大腸菌 (O-157など)

- 感染力 ★★★★★
- 危険度 ★★★★★
- 流行時期 5月 6月 7月 8月
- 主な症状 激しい腹痛・水のような下痢・血便・一過性の発熱
- 感染原因 肉類（牛・羊肉）・生レバー・野菜・井戸水
- 特徴 熱に弱い
- 予防方法 肉類の加熱熱（75°で1分以上）
野菜は流水でよく洗う
調理器具の洗浄・除菌や手洗いの徹底